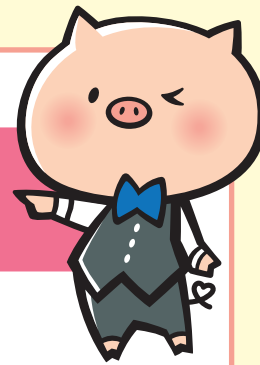


愛知商銀のとりくみ



地域清掃

社会貢献活動

信用組合の基本理念であります「地域密着型金融」を実践するため、様々な社会貢献活動に取り組んでおります。



献血



岡崎支店外観

岡崎支店紹介

昭和35年7月にオープンした岡崎支店ですが、旧岡崎支店敷地内(岡崎市葵町)での新築移転を経て、令和4年5月16日にグランドオープンを行いました。

はばたき奨学金授与式



授与式の様子



昨年度より返還不要の奨学金制度「しょうぎんはばたき奨学金」を創設。令和4年度は39名の応募があり、18名の学生に奨学金を授与いたしました。

信用組合 愛知商銀



本店営業部	〒453-0013 愛知県名古屋市中村区亀島一丁目6番18号	052-451-5141
岡崎支店	〒444-0913 愛知県岡崎市葵町4番地10	0564-21-5141
一宮支店	〒491-0862 愛知県一宮市緑3丁目11番14号	0586-72-0256
今池支店	〒464-0850 愛知県名古屋市中村区今池5丁目15番1号	052-732-5426
豊橋支店	〒440-0882 愛知県豊橋市神明町46番地	0532-53-7336
柴田支店	〒457-0807 愛知県名古屋市中村区鶴見通5丁目2番9号	052-614-1231
春日井支店	〒486-0851 愛知県春日井市篠木町1丁目23番地	0568-85-3222
津支店	〒514-0035 三重県津市西丸之内11番10号	059-224-1161

ディスクロージャー

DISCLOSURE 2022

2022.09.30
Management Information



信用組合 愛知商銀

信用組合愛知商銀
マスコットキャラクター
トントンくん

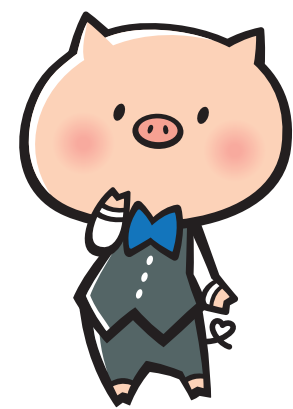
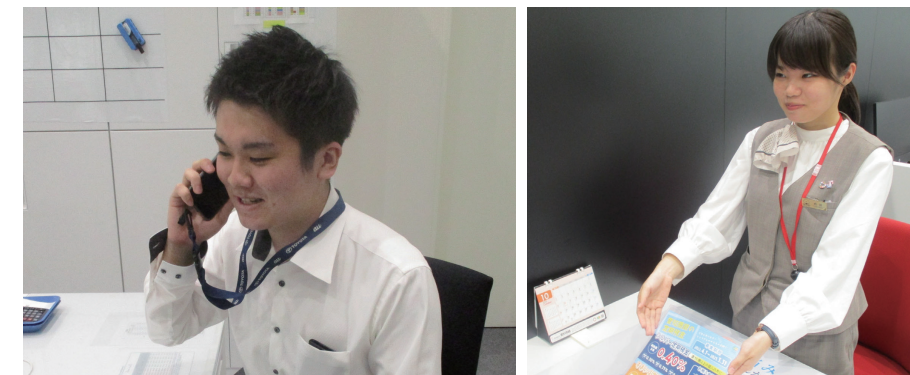
愛知商銀について



当組合のあゆみ

1954年12月	金剛信用組合を設立(名古屋市東区)
1955年11月	本店移転(名古屋市中村区椿町2丁目)
1958年 9月	信用組合愛知商銀に名称変更
1960年 7月	岡崎支店を新設
1962年 8月	一宮支店を新設
1964年 5月	本店移転(名古屋市中村区則武1丁目)
1985年 5月	自営オンラインシステム稼働
1989年11月	春日井支店を新設
2002年 2月	信用組合三重商銀(四日市支店・津支店)を事業譲受
2002年10月	熱田支店を柴田支店へ統合、上飯田支店を今池支店へ統合
2004年 1月	瀬戸支店を春日井支店へ統合、豊田支店を岡崎支店へ統合
2006年 5月	SKC(信組共同センター)オンラインシステム加盟
2006年12月	四日市支店を本店営業部へ統合
2019年 5月	本店移転(名古屋市中村区亀島1丁目)
2022年 5月	岡崎支店リニューアルオープン

設 立	1954年12月27日
預 金 額	1,143億7,626万円
貸 出 金	810億2,479万円
出 資 金	36億4,009万円
組合員数	17,907人
役員員数	120人
店 舗 数	8店舗



トントンくん

元々は貯金箱だったが、お金がいっぱいに貯まった時、ブタの妖精に生まれ変わったトントンくん。ベストと蝶ネクタイは「お客様第一」の象徴。

プロフィール

- 性別 男の子
- 年齢 妖精になってから一歳
- 現れる時 お客様のチカラになれる時
- 得意なこと 幸せのタネをお客様と一緒に育てること
- チャームポイント ハートのしっぽ

ごあいさつ

皆様方には、日頃より当組合に格別のご愛顧お引き立てを賜り、心より厚くお礼申し上げます。

本年も、当組合の現況をより深くご理解頂くため、ミニディスクロージャー誌を作成致しましたので、ご高覧賜りたいと存じます。

2022年度上半期は、ロシアによるウクライナ侵攻、原油高、欧米各国の市場金利上昇、急激な円安などが重なり、日本国内においては近年にない程の「物価上昇圧力」が継続しております。また、発生から2年以上となる新型コロナウイルス感染症については、わずかながらも出口が見えてきた感がありますが、アフターコロナによる本格的な景気回復については、程遠いものがあると言わざるを得ません。

上半期における当組合の業績については、岡崎支店のリニューアルオープンに伴う記念定期預金の発売により、預金残高は1,143億円になるとともに、貸出金残高については、不動産関連融資等の増加により810億円となりました。

収益面については、長期プライムレートの上昇による貸出金利息収入の増加が主な要因となり、経常利益は578百万円、当期純利益は433百万円となりました。また、金融機関の健全性を示す指標である自己資本比率も8.40%と国内基準である4%を大きく上回っております。

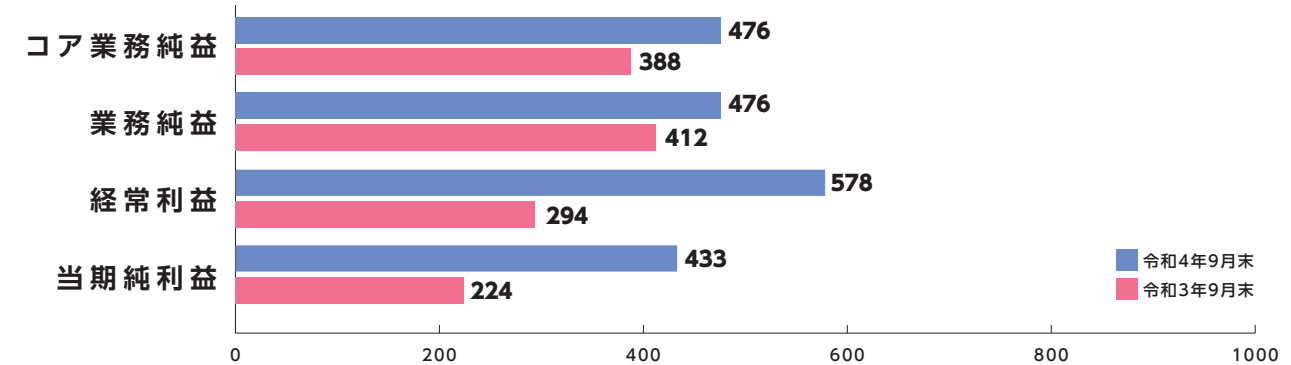
今後も地域における協同組合組織として経営基盤の健全性維持に努めるとともに、中小零細企業及び勤労者の資金円滑化、並びに組合員の経済的地位の向上に資することを目的とし、地域の皆様に真にお役に立てる金融機関を目指してまいりますので、一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 大原 清三

愛知商銀の経営情報

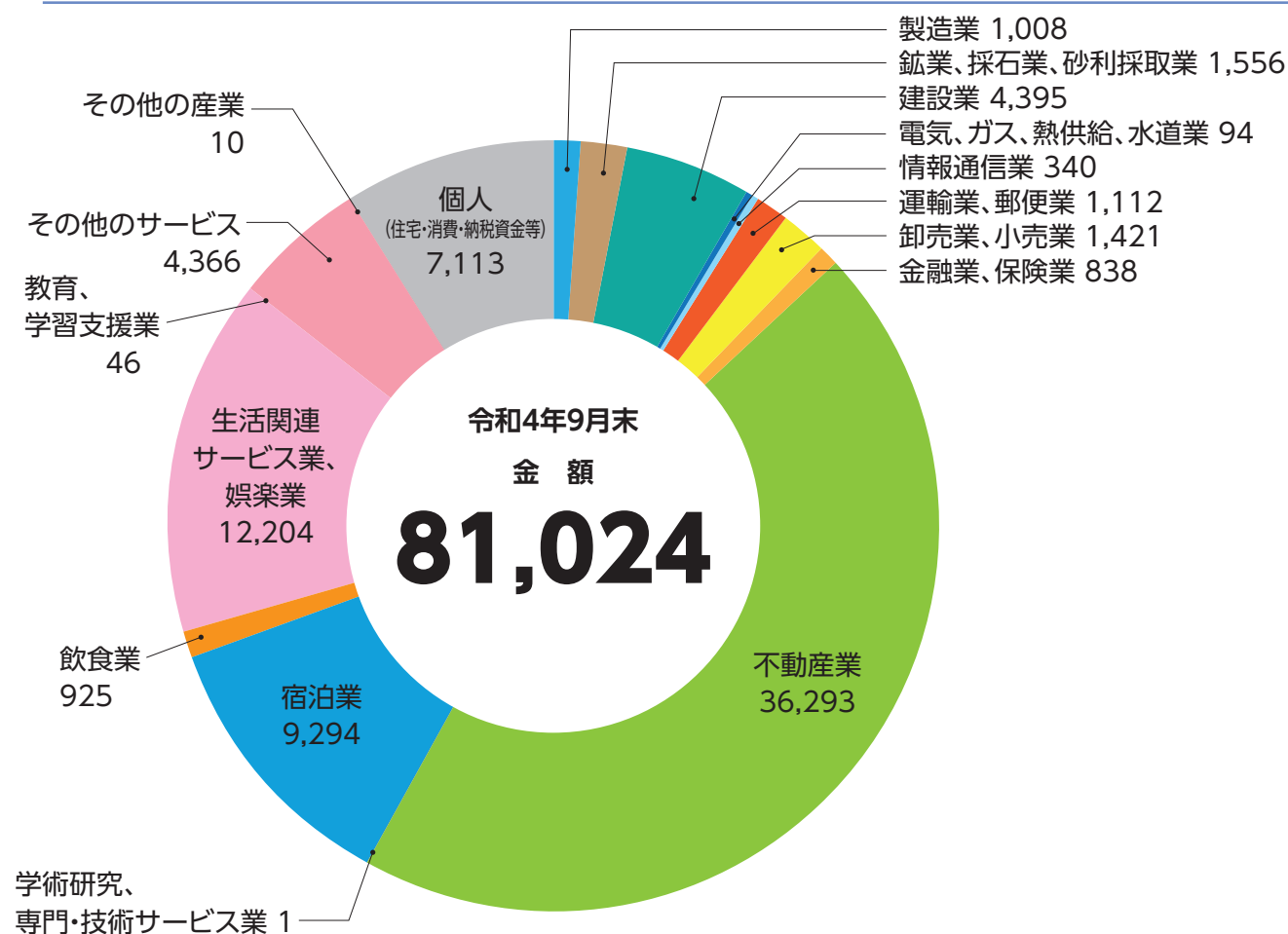
損益状況

(単位:百万円)



貸出金業種別残高

(単位:百万円)



貸借対照表

(単位:百万円)

(資産の部)		令和4年3月末	令和4年9月末	(負債の部)		令和4年3月末	令和4年9月末
現 金	511	506	預 金 積 金	111,351	114,376		
預 け 金	62,968	66,890	借 用 金	41,540	43,360		
有 価 証 券	13,994	12,868	そ の 他 負 債	839	717		
貸 出 金	79,909	81,024	賞 与 引 当 金	56	59		
そ の 他 資 産	559	537	役 員 賞 与 引 当 金	16	—		
無 形 固 定 資 産	3,098	3,123	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	114	85		
前 払 年 金 費 用	186	140	睡 眠 預 金 払 戻 失 引 当 金	0	0		
繰 延 税 金 資 産	242	554	再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	51	51		
債 務 保 証 見 返	382	400	債 務 保 証	382	400		
貸 倒 引 当 金	△1,319	△1,160	負 債 の 部 合 計	154,353	159,050		
(うち個別貸倒引当金)	(△938)	(△933)	(純資産の部)				
資 産 の 部 合 計	160,539	164,894	出 資 金	3,553	3,640		
			利 益 剰 余 金	3,391	3,788		
			利 益 準 備 金	1,571	1,761		
			そ の 他 利 益 剰 余 金	1,820	2,027		
			組 合 員 勘 定 合 計	6,944	7,428		
			そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△693	△1,520		
			土 地 再 評 価 差 額 金	△64	△64		
			評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△758	△1,585		
			純 資 産 の 部 合 計	6,186	5,843		
			負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	160,539	164,894		

損益計算書

(単位:百万円)

	令和3年9月末	令和4年9月末	令和3年9月末	令和4年9月末
経 常 収 益	1,228	1,474	法人税、住民税及び事業税	82
資 金 運 用 収 益	1,185	1,260	法 人 税 等 調 整 額	△12
役 務 取 引 等 収 益	34	51	法 人 税 等 合 計	70
そ の 他 業 務 収 益	7	2	当 期 純 利 益	224
そ の 他 経 常 収 益	0	159	繰 越 金 (当 期 首 残 高)	1,364
経 常 費 用	934	895	当 期 未 処 分 剰 余 金	1,588
資 金 調 達 費 用	203	203		
役 務 取 引 等 費 用	18	18		
経 費	672	673		
そ の 他 経 常 費 用	40	0		
経 常 利 益	294	578		
特 別 利 益	—	0		
特 別 損 失	0	0		
税 引 前 当 期 純 利 益	294	578		

自己資本の充実状況

(単位:百万円)

コア資本に係る基礎項目(1)	
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る組合員勘定又は会員勘定の額	7,428
うち、出資金及び資本剰余金の額	3,640
うち、利益剰余金の額	3,788
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	226
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	226
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	84
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	△1
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	7,738

コア資本に係る調整項目(2)	
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	5
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	5
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	—
前払年金費用の額	103
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	108

自己資本	
自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ)	7,630

リスク・アセット等(3)	
信用リスク・アセットの額の合計額	87,034
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△12
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	3,728
リスク・アセットの額の合計額 (ニ)	90,763

単体自己資本比率	
単体自己資本比率((ハ)/(ニ))	8.40%

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

(単位:百万円、%)

区 分	債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)	貸倒引当引当率 (C)/(A-B)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	令和3年度	1,201	475	725	1,201	100.00
	令和4年度	1,177	428	749	1,177	100.00
	令和3年度	1,578	1,223	212	1,436	90.99
危険債権	令和4年度	1,634	1,289	184	1,474	90.19
	令和3年度	35	21	1	23	66.40
要管理債権	令和4年度	31	5	5	11	36.86
	令和3年度	2,815	1,721	940	2,661	94.52
不良債権計	令和4年度	2,844	1,724	939	2,663	93.65
	令和3年度	77,519				
正常債権	令和4年度	78,614				
	令和3年度	80,335				
合 計	令和3年度	81,459				
	令和4年度	81,459				

